



■オアシス

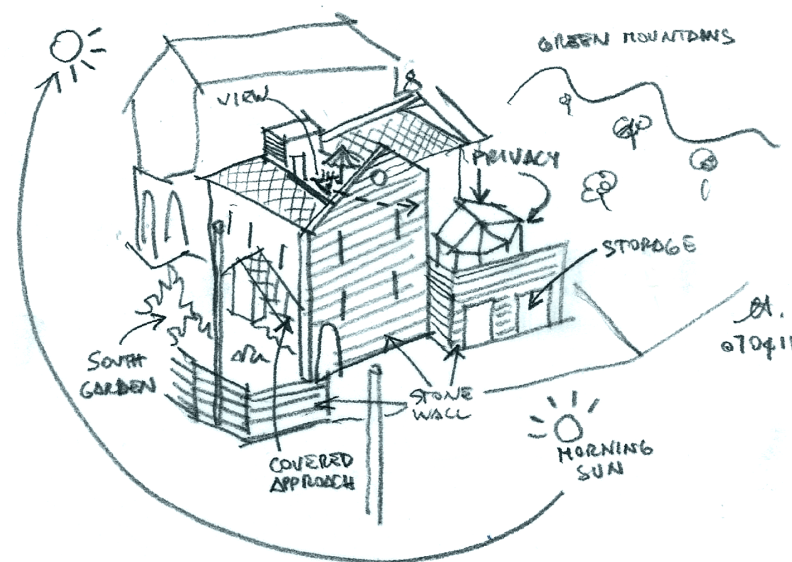
限られた恵みをみんなで分かち合う。それがオアシスのルールです。決まった場所にみんなが集まれば、小さな社会ができあがります。また、新しいオアシスを作ること大切です。例えば屋上緑化。ヒートアイランドにしないためにも、社会に対してできることをやっていきたいものです。それは同時に、自分たちにとっても有益なことなのです。

プロジェクトデータ

敷地面積： 170.31㎡ (51.52坪)
建築面積： 80.1㎡ (24.3坪)＝47.03%＜60%
延床面積： 149.6㎡ (45.3坪)＝87.83%＜200%
施工床面積：165.0㎡ (50.0坪)
（小屋裏、テラス、屋外収納、外部階段は半分の面積で計算）
造規模： 木造2F建て

Perfect whites 「白」の可能性

本提案は、北欧の様々な場所を思い出しながら、インスピレーションにより纏めました。
自然に恵まれた土地の良さを生かすために英国の「半屋外空間を活用する」文化を参考にし、間取りや開口部の配置においては、シンプルで上品さがあるシェーカー族のバランス感覚を取り入れました。
ミニマリストを意識しながらも、天然素材を使った温かみある家を考えています。



キーワード

○ナチュラル（自然素材）

私たちは自然の素材の質感と色彩を大切に考えています。自然素材は、年を経るごとにその表情を豊かにしていきます。自然素材は、多くの緑・本当の自然とあいまって、様々なシチュエーションを豊かに演出してくれます。

○クリーンリネス（分かりやすく使いやすいこと）

部屋は、使い勝手に従って流れるように並ぶのが使いやすいでしょう。生活のシークエンスがそのまま部屋の配置になっているような住宅が、分かりやすく使いやすいと考えています。収納やサービス空間がしっかりしているべきだと考えます。ウォークイン・クローゼットや、物入れ、ロフト、ユーティリティルーム、などの豊かな収納・サービス空間を設け、本当に必要なスペースが常にすっきりと片付いている状態が、毎日の生活を便利で整然としたものにしてくれます。

○フレキシビリティ（柔軟性）

私たちは、将来の家族構成や生活スタイルの変化に対応できるフレキシビリティの高い住宅を提案します。プライベートスペースとパブリックスペースは、連続した空間により有機的につながります。住み手の生活スタイルの変化に対応して、柔軟に仕切り方を変えられるような空間をつくります。

○アーバンコンフォート（都市的快適性）

前庭は、メンテナンスの容易な玉石舗装で仕上げるなど、都市的な快適性を追求することも忘れてはなりません。限られた土地で豊かに暮らすために、住宅の屋上やテラスといった外部空間の緑化を考えます。植物たちにとっても、太陽に近いテラスで育つことが適切であるの言うまでもありません。

南面を割り石風の磁器質タイルで仕上げ、造成時の擁壁との統一感を出すことにより、家と庭の一体感を生み出します。

屋根の上の煙突のような塔は屋上テラスへのアクセスともなる「ペントハウス」です。自然換気の排気口や採光の役割も果たします。

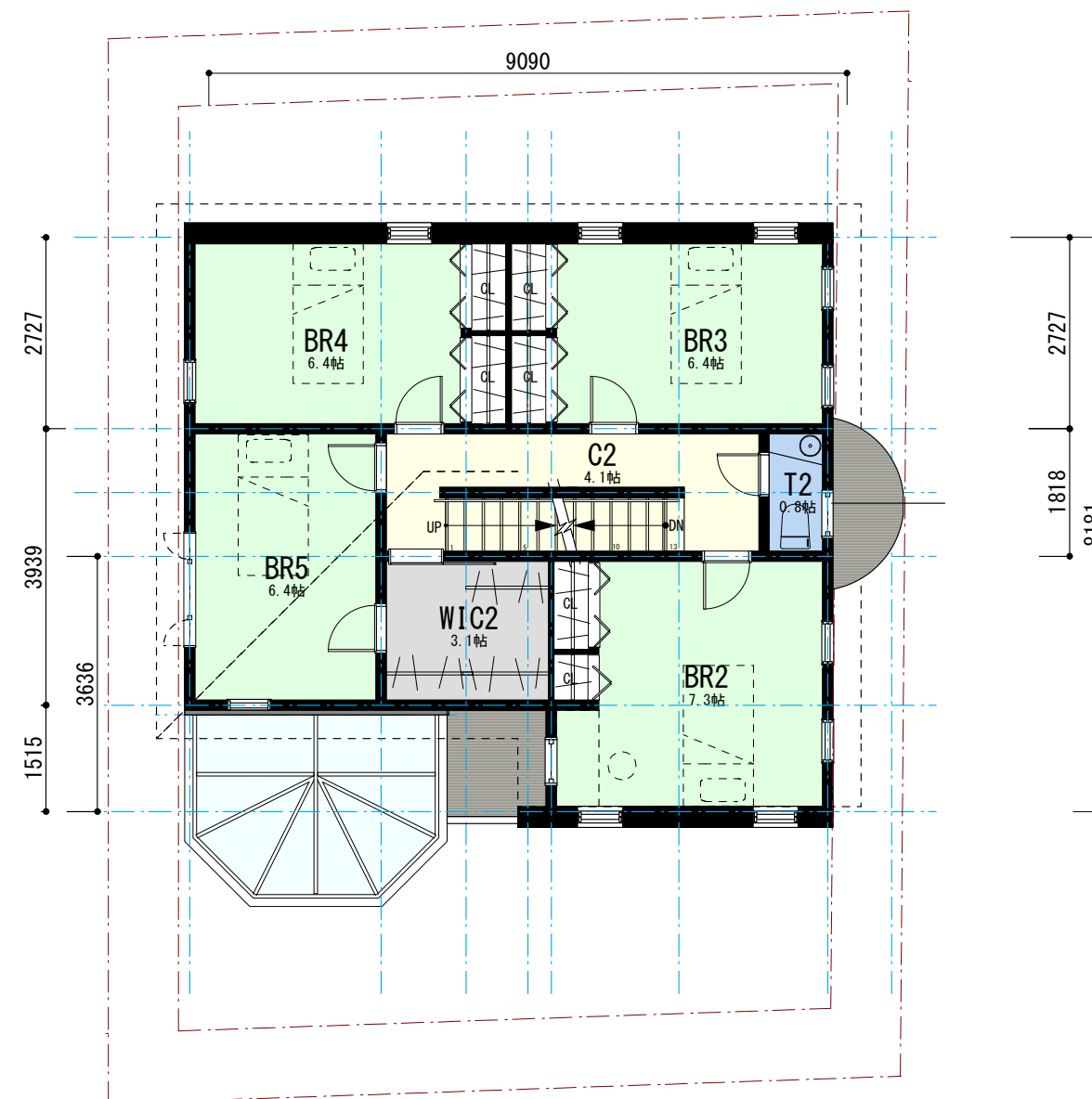


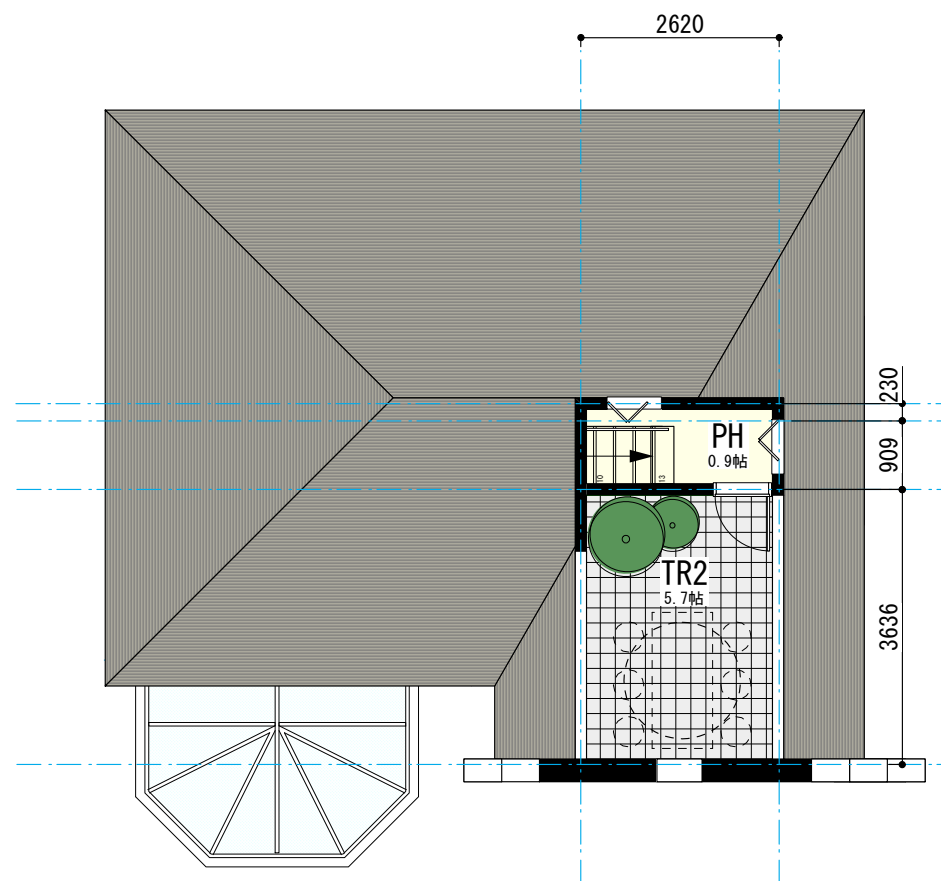
こちらのロケーションの特徴のひとつは素晴らしい眺望です。土地の高低差を利用し、道からの視線が届かない屋上テラスを設けました。くつろぎながら、南向き・東向きの眺めを楽しんでいただけます。

さらに、本提案では、緑で囲まれた建物を通しての「白」の無限の可能性をテーマとしています。

欧米で人気のラルフローレン・インテリアのペイントコレクションのセンターピースは60種類揃う「白」色です。雪の純白からウールのナチュラルホワイト、そしてリネンのオフホワイトまで幅広いニュアンスがあります。

「白」はテクスチャ・構造・質感を伝える力のある色。目で見るだけでなく感じる色です。窓の格子や塗り壁、東面の石積み外壁、小窓から差し込む光…自然の中にある建物にもいろいろな「白」があります。







南立面図

SC= 1:100